

新年



安心して暮らせるまちづくり

議長 田島 清美

あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を迎え、心からお慶び申し上げます。

今年の干支は「兎」です。うさぎは飛び跳ねて動く、その仕草から「飛躍」を表し、また可愛らしく穏やかな容姿から家庭円満の象徴とも言われております。当町も「兎」にあやかり飛躍の一年にしたいものです。

さて、2011年、我が国の取り分け地方自治や地域社会はどのような状況におかれているのかとみますと、アメリカ発の100年に一度と言われる世界規模で起きた経済危機による余波で地域経済は依然として冷え込んだままです。その影響で日本でも雇用環境、円高、デフレなど深刻な影響が続いております。

そうしたなか、笠松町において来年度は、第5次総合計画の年となります。今後10年間を見据え、住む人、訪れる人、行き交う人がいきいきと輝き、住んでよかった、来てよかったと思える希望あるまちづくりの将来像を描きなが

ら、計画実施に向けて取り組んでいきます。

特に平成21年度から始まったまちづくり事業として「まちの駅」が誕生し、町の情報発信、休憩、案内、交流など「住民主体」となって町おこしが行われております。また教育面では、未来ある子どもたちに光文庫整備基金を活用した外国語教育や図書の充実など教育に力を注いでいきたいと思っております。

町議会といたしましても、町民の皆様のご意見に耳を傾けながら、すべての人が幸せに安心して暮らすことができる、元気あふれるまちづくりを目指し、推進していくことを使命として、皆様のご期待に応えるよう決意を新たにしております。

どうか本年も笠松町のさらなる発展のため限らないご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

平成23年 笠松町議会